

No. 179

平成31年1月発行



北塩原村 KITASHIOBARA

〒966-0485 北塩原村大字北山字姥ヶ作3151 ☎(0241)23-3263
HPアドレス <http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

発行/北塩原村議会 編集/議会広報調査特別委員会

目次

平成30年第7回定例会について	2～4
ズバリ！村政を質す	5～9
議会活動報告	10

議会だより

12月議会

謹賀新年

皆様、あけましておめでとうございます。



議長 大竹 良幸

輝かしい新春を迎え、村議会を代表して村民の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

村民の皆様には日頃より、本村議会に対しまして、温かいご支援、ご協力を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。

議会では議員一同が村民の代表であるというその役割と責任を自覚し、皆様のご期待に沿うよう努めてまいりますので本年も、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2019年が、皆様にとりまして、幸多き一年でありますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。



12 月 定例会

あらまし

12月定例会は12月7日から11日までの5日間の会期で開催されました。
1日目に、村長招集あいさつ並びに提案理由の説明、諸般の報告、議案の説明を行いました。
4日目は、一般質問で4名の議員が村政を質しました。
最終日は、午前中に常任委員会が開かれ、午後からは各議案について、質疑・討論・採決が行われました。

追加議案を含む13議案を可決・同意

【提出議案の概要】

福島県市町村総合事務組合
規約の変更について

福島県市町村総合事務組合
規約を変更することについて
議会の議決を求めるもの。

職員の自己啓発等休業に関
する条例の一部を改正する
条例

学校教育法の改正により引
用条項のずれが生じたこと
による改正を行うもの。

議会議員の議員報酬、期末
手当及び費用弁償に関する
条例の一部を改正する条例
議員の期末手当を0.05
月分引き上げる条例の改正を
行うもの。

村長等の給与及び旅費に関
する条例の一部を改正する
条例

村長の期末手当を0.05
月分引き上げる条例の改正を
行うもの。

職員の給与及び旅費に関す
る条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会の勧告内
容を踏まえ条例の改正を行う
もの。

・給料表の改定
・特別給の引き上げ
(0.05月分)

北塩原村ひとり親家庭医療
費の助成に関する条例の一
部を改正する条例

児童扶養手当法の一部改正
に伴い改正を行うもの。
・所得判定期間の変更

・条文のずれによる改正

北塩原村放課後児童健全育
成事業の設備及び運営に関
する基準を定める条例の一
部を改正する条例

放課後児童支援員の資格要
件を拡大するための条例の改
正。
(詳細は3ページ)

北塩原村家庭的保育事業等
の設備及び運営に関する基
準を定める条例の一部を改
正する条例

国の定める基準の一部改正
による条例の改正を行うも
の。

平成30年度北塩原村一般会
計補正予算(第4号)

(詳細は4ページ)

平成30年度北塩原村国民健
康保険事業費特別会計補正
予算(第2号)

人件費の補正を行うもの。

平成30年度北塩原村簡易水
道事業特別会計補正予算
(第1号)

事業費確定による精査を行
い減額するもの。

平成30年度北塩原村後期高
齢者医療特別会計補正予算
(第1号)

過年度還付によるもの。

追加議案

教育委員会委員の任命につ
いて

(詳細は3ページ)

主な質疑

北塩原村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

【解説】

放課後児童支援員の職員資格について条例を改正しました。

(資格の明確化)

- ・教育職員免許法第4条に規定する免許状を有する者(資格要件の追加)
- ・専門職大学の前期課程を修了した者
- ・5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって市町村長が適当と認めた者



問 五十嵐 善清 議員

専門職大学の前期課程を卒業したものがあるが、どのようなものか。

答 (総務企画課長)

平成31年の4月から専門職大学、専門職短期大学が新設されます。専門職大学は大学相当で修学期間が4年、専門

問 小椋 眞議員

職短期大学については2、3年となっており、専門職大学の課程として前期・後期を区分しても可能となるためそれに対応して追加された内容です。

このような条例の改正については全員協議会などを行い、もっと説明の時間を作りたいのではないかと。

答 (村長)

今回は条例の一部改正というところで通常の説明で行いましたが、今後は全員協議会などを行いまして、みなさまにご理解いただけるようにしていきたいと思っております。



▲裏磐梯児童クラブ



▲さくら児童クラブ

人事

教育委員会委員の任命について

本会議では、平成30年12月31日をもって任期終了となる阿部好喜さんに変わり、新たな教育委員の任命について追加議案が提出され、全会一致で同意となりました。

新たな教育委員は穴澤智恵子さん(桧原)が就任です。任期は平成31年1月1日より4年間となります。



▲穴澤智恵子さん



第7回定例会に付した議案と審議結果

議案番号	件 名	審議結果
議案第52号	福島県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
議案第53号	職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例	//
議案第54号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	//
議案第55号	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	//
議案第56号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	//
議案第57号	北塩原村ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	//
議案第58号	北塩原村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	//
議案第59号	北塩原村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	//
議案第60号	平成30年度北塩原村一般会計補正予算（第4号）	//
議案第61号	平成30年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計補正予算（第2号）	//
議案第62号	平成30年度北塩原村簡易水道事業費特別会計補正予算（第1号）	//
議案第63号	平成30年度北塩原村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	//
議案第64号	教育委員会委員の任命について	同 意

小中学校冷房設備設置事業

児童生徒の熱中症対策を進めるため村内4校の冷房設置工事に係る実施設計のための費用。平成31年の夏までの設置を目標に計画を進めていく予定。

【11,639千円】



障害者自立支援給付支払等システム改修事業

障害者自立支援給付支払等システムの追加改修費。

【184千円】

「第14回国内観光活性化フォーラム in ふくしま」協賛金

平成31年2月15日にビッグパレットふくしまで開催されるイベントの大会誌広告掲載及びブース出店登録料。

【150千円】



▲観光イベントの様子

交通安全対策事業

裏磐梯・曾原地区のカーブミラー設置のための費用。

【198千円】

議会議員・特別職・職員人件費

今回の条例改正等（期末手当勤勉手当等の改正）のための経費。

【734千円】

平成30年度一般会計補正予算(第4号)の主な内容



- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1 遠藤 祐一 議員 | 6 |
| ○新年度予算編成概要及び重点施策について | |
| ○31年公表される改元号に関わる事前の取り組みと予算について | |
| 2 蟹巻 尚武 議員 | 7 |
| ○村立幼稚園、小・中学校及び老人福祉施設における冷房設備の整備について | |
| ○五色沼探勝路実態と整備について | |
| 3 小 椋 元 議員 | 8 |
| ○学校給食費の無料化について | |
| ○診療所の利用状況について | |
| 4 若 林 幸 子 議員 | 9 |
| ○児童生徒の学力向上について | |
| ○国際交流について | |

議会傍聴にお越しく下さい！

次回定例会は 3月8日 開会予定です。

議会皆様様の生活に寄り添い、皆様様の声を村へ反映する議決機関です。村のこれからが見える議会傍聴にぜひ足をお運びください。

議会傍聴、議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

TEL：(23) 3263 FAX：(25) 7358

HPアドレス：<http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

ズバリ!!

村政を質す

4人の議員が一般質問

一般質問とは？

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問をたずね、報告や説明を求めることをいいます。

Q. 平成31年度予算編成の概要及び重点施策の取り組みは

A. 8つの施策分野について、連携と交流を図りながら各種の施策を展開していく

遠藤 祐一



上下水道事業について伺う

問 戸数・人口減少の中、上下水道の設備の消耗に対応していく財源の確保が重要な課題となっている。それについてどのような考え、施策を持っているのかを伺う。

答（建設課長）

財源の確保につきましては大きな課題となっており、平成26年度にも上下水道料金等検討委員会を立ち上げ検討を行って来ましたが、料金改定までには至りませんでした。料金を試算すると、約5年で水道料金は約1.4倍、下水道は施設の更新も必要となるため、約2倍にしないと採算が取れない状況に来ており、再度検討委員会の立ち上げを検討し、見直しをしていきたいと考えております。

廃油回収等の事業について

問 廃油の回収を行い、精製・販売を行っているのとありますが、収支のバランスはどうなっているのか。また、当初の目的であるクマさんバスで使えないのであ

れば、撤退やラビスパで使用するなどし、経費削減につなげていかなければいけないのではないかと。

答（総務企画課長）

収支のバランスは、平成29年度は収入12万9千円に対して人件費などのコストが81万円ほどかかっている状況であります。しかし、本事業は下水に油が流れ込むなどを防ぐ、下水処理施設への負担を下げる側面もあります。ラビスパでBDF（精製油）が使用出来るかどうかは調査が必要となります。

文化財保護について

問 郷土の伝統芸能として大塩川前神楽や火の山太鼓が活



▲大塩川前神楽保存会の皆さん

動しているわけだが、現在の支援状況で継続していけると考えているのか。

答（教育課長）

住民の方々の努力により復活あるいは結成され継続されている貴重な文化財ではありますが、歴史的には復活・結成からまだ日も浅く、住民の自主的な活動というふうには捉えております。川前神楽については、川前神楽準備会へ平成25年から5年間、火の山太鼓についても結成当初に補助金を交付させていただいております。今後も支援はして参りたいと思います。

教育環境について

問 全国的に少子化が進み教育環境の整備が進み、特に統合問題が取りざたされているが、当村の長期的な展望を伺う。

答（教育長）

本村でも各学校の統合があり、今も裏磐梯小学校の完全複式など本村も少子化の波が押し寄せてきておりますが、今後もこれまで以上に少人数だから出来る個性に応じた特色ある教育環境の整備充実に

努力していきたいと考えております。

平成31年の元号改正について事前の取組みと予算は

問 元号の改正にともない想定される問題対策を伺う。また、国からの補助はあるのか、予算の見込みについても伺う。

答（総務企画課長）

元号改正で想定されるものは、1つは各業務システムの改修、2つめは条例の改正、3つめは封筒など印刷物の関係があります。また、特別経費として、天皇即位をお祝いするイベントの計画がありましたらその経費が計上されます。予算については国からの補助は無い見込みで、前の3項目については概算で100万円程度、イベント等については次年度の事業を検討している段階です。

蟹巻
尚武Q. 教育・福祉施設の冷房設備の
充実を図るべきではないかA. 全幼稚園、小中学校への導入を目指し
設計調査費を補正にて計上した

問 今年の夏は猛暑に見舞われ、幼稚園、小中学校、老人福祉施設に多大な被害を及ぼしたが対策を検討しているのか。

答（村 長）

村の方針として、園児・児童生徒の健康管理を第一と考え、全幼稚園、小中学校へ冷房を導入したいと考えて、今回の一般会計補正予算へ設計調査費を計上させて頂いたところであります。

工事等については、国のブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金を活用して、改めて予算を計上したいと考えております。

老人福祉施設の冷房設備は、デイサービスセンターでは、一部未設置の部屋もありますので早急に計画・導入をしていきたいと考えております。

問 保健センターも老人や幼児が利用しているので、導入を早急に検討するべきではないか。

答（村 長）

公共施設全体を見渡した中で計画する必要があると考えており、福祉・保健施設は緊急性が高いと認識しております。

すが、財源確保のために有利な起債、補助事業などを活用し、地球温暖化防止の対策も勘案しながら優先順位をつけて進めて参ります。



▲保健センターの様子

五色沼自然探勝路の景
観対策を問う

問 かねてより五色沼自然探勝路の景観が悪化し、対策を求める声が上がっているが現在の進捗状況はどのようなものか。

答（商工観光課長）

村はお客様が満足いただける状況にしたいという思いから、設置者である環境省や県に対し、要望を行うとともに、県が設置する五色沼自然

探勝路歩道管理検討会の中で、国や県、専門家、地元観光協会とともに解決策について検討を重ねてまいりました。その中でヨシの繁茂対策として刈り込みや踏み倒しを実施してきましたが景観上マインナスの点が多く出てきたという結果が報告されました。次の対策として展望デッキを設置したところ、来訪者の方に喜ばれております。また、生い茂った樹木の伐採や枝打ちなど対策を講じているところです。

問 福島大学・黒沢教授がビクターセンターで行った講演で、植物が生い茂っていく変化も自然の摂理であるというお話をされたそうですが、例えばそのような変化の案内板を設置するなどしてはどうか。また、新たな通景線の確保や展望デッキの設置・かさ上げなども検討すべきではないか。

答（商工観光課長）

村も内容は把握しており、黒澤先生には検討会のアドバイザーとしても参加いただいておりますので利用者や住民の方の意見も集約しながら検討会で議論を進めていく形になるかと思っております。

問 今、県が開催している検討会だけではなく、北塩原村民による検討会もつくるべきである。そして村の意見を集約し、県及び環境省へ要請できるようにすべきではないか。

答（村 長）

村民の考えをまとめる必要があると理解をしております。黒澤先生の意見なり、県の検討を重ねながら前向きに進めたいと考えております。



▲講演会の様子

Q. 学校給食の無料化は考えているのか

A. 子育て支援策を継続していき、 給食費の無料化は考えていない

小
原



学校給食の無料化を本村でも実施すべき

問 県内約半数の自治体で給食費の全額補助や一部補助が実施されているが本村でも実施すべきではないのか。

答（教育課長）

当村では、子育て祝金など子育て支援として様々な取り組みを実施しており、今後も現在の子育て支援策を継続して参りますので、現在のところ給食費の無料化は考えておりません。



▲昼食の様子（さくら小学校）

問 試算すると大体1000万円もあれば無料化が実施できるのではないかと考えるが、その財源が出せないという理由はなにか。

答（教育課長）

今年の場合ですと年間約1,160万円ほど必要となります。一般財源より子育て対策を行っておりますが、さらにその1,160万円を確保するには、他の事業も含めた検討が必要となります。村では率先して医療費の無料化なども行っていますので今のところ、給食費の無料化は考えていません。



▲学校給食の一例

裏磐梯診療所の利用促進を図るべきである

問 裏磐梯診療所に医師が常駐するようになり一年以上が経過したわけだが、利用者の推移について伺う。

答（住民課主幹）

常駐前の平成28年9月から29年8月までと常駐後の平成29年9月から30年8月までを集計し比較しますと、常駐前の一年間の利用者は1,677人、常駐後は2,217人で540人の増となっております。

問 村民の多くは村外の医療機関へ通っている現状がある



▲裏磐梯診療所 荒川先生

る。村民にもっと診療所を利用してもらえないようにしていくべきではないか。

答（副村長）

今回、医師が常駐するようになり、診療以外にも先生の講演会や健康講座などで住民の健康意識の高揚が図られると共に、身近な存在になりつつあるようです。村民に利用してもらえないように今後もいろいろな形でPRしていかなければいけないと考えております。

問 診療所が受診料で運営出来るようになれば指定管理の費用も安くなるのではないかと。

答（村長）

利用者が多くなれば指定管理の費用がすぐに安くなるというものではありませんのでご理解いただきたいと思います。

今後も、村民の安心安全の確保をしていくとともに、観光の面でも、本村に来る教育旅行が増えつつあるのは医師の常駐が一因となっていると考えております。

今後も村民に利用して貰える診療所にしていきたいと考えております。

若林
幸子

Q. 学力向上のための施策は

A. 少人数ならではの、個性に応じた指導を進める

問 福島県教育委員会と埼玉県教育委員会で学力向上の連携協定を締結したが当村ではどのような関わりになっているのか。

答（教育長）

このたびの埼玉県教育委員会との連携協定は、県としては平成31年度から新たな枠組みで福島県学力調査を実施する予定です。この調査はこれまで小学5年生と中学2年生のみ対象としておりました県学力学習状況調査を発展的に改修したもので、対象を小学4年生から中学2年生までに拡大し、児童生徒一人ひとりの学力調査を5年にわたり継続的に実施し、習熟度の変化をより細かく明確に捉えることができます。

本村のような小規模な学校におきましては、他の集団との比較ではなく、それぞれの個性に応じた指導をこれまで以上に提供できる良い機会かと考えております。

問 教職員同士の研修なども計画しているのか。

答（教育長）

県に確認したところでは、それぞれに先進的なものを研修する機会を設けることは確

認しています。しかし、本村の教職員が県の代表として行くということについてはまだ決まっていないようなので、それを確認しながら吟味する必要があるかと思えます。現時点では埼玉県やこの先進地である戸田市へ行く計画はありません。

問 西会津町ではプログラミング教育というものを実施するために議員も研修を受けたと聞いたが本村の取組み状況について伺う。

答（教育長）

プログラミング教育は新学習指導要領で平成32年より完全実施するとなっており、本村では平成31年度に先行実施するという事で協議しております。西会津町の状況ですが、西会津町にそのような企業がある関係で先行実施しているようです。本村では改めて研修の機会を設けてプログラミング教育を進めて参りたいと考えております。

国旗の掲揚を行い国際交流の周知とおもてなしを行うべき

問 各地へ行くと色々な公共施設などに国旗が掲げられ、友好関係を知ることが出来るが、次年度以降、国際的なスポーツイベントが行われる中で本村でもそういったおもてなしを行うべきである。実施について考えを伺う。

答（総務企画課長）

国旗の掲揚をしてはどうかということではありますが、村民や村外の方々にご理解いただくのに非常に有効である

森のくまさんバスの有効活用について

意見 くまさんバス1号の有効活用について、今年再開したラフエスタ・ミッテミリアで、本庁が中継所となったが、会場にくまさんバス1号を展示して話題となったようにしっかりと計画を進めてほしい。

思っています。まず役場庁舎にどのように掲示すれば理解いただけるか検討してまいります。



▲今回の質問を受けよりわかりやすく展示



▲貴重な車両の有効活用を

県及び中央要望活動を実施

北塩原村議会では、11月12日から13日の2日間、県及び東京都の各中央省庁、県選出の国会議員等へ小椋村長と共に要望活動を行った。

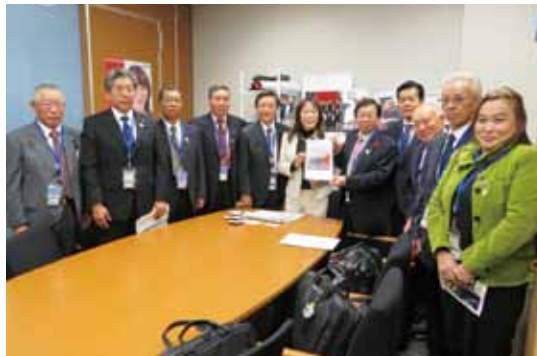
主な要望の内容は、農業分野では原子力発電所事故による風評の被害が未だに根強く影響が続いているため、風評対策強化指針による支援の継続を要望した。

また、磐梯朝日国立公園の利用環境の整備についてとして、東京オリンピックのある2020年には国立公園指定70周年を迎えるため、各施設の整備や、外国語の案内板の設置、また湖沼群の眺望の改善などへ支援を求めた。

また、裏磐梯にある下水処理施設は本村の水環境のみならず、下流の猪苗代湖や他の地域の水質維持にも関わるため高度な処理が必要とされており、本村の財政に大きな負担となっている。地域の水環境の維持のために技術的・財政的な支援を要望してきた。



▲菅家一郎衆議院議員



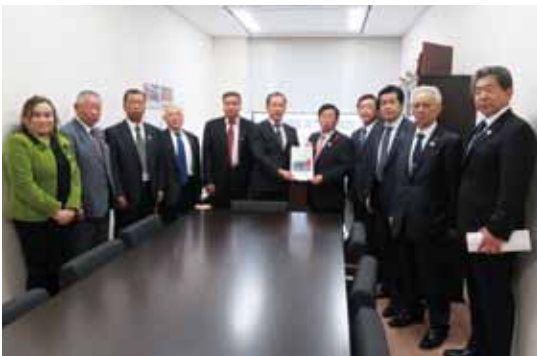
▲森まさこ参議院議員



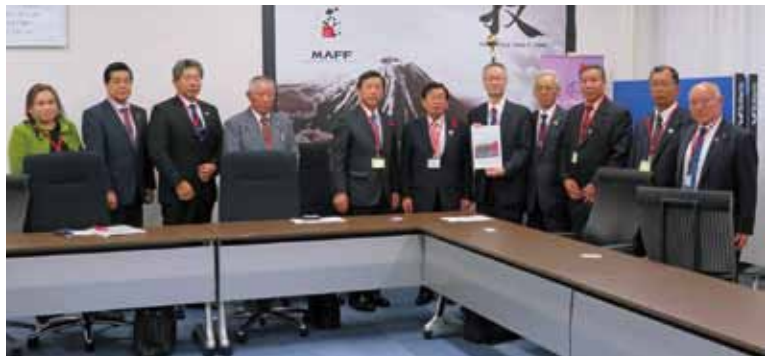
▲小熊慎司衆議院議員



▲県庁生活環境部



▲観光庁



▲農林水産省

編集後記

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

村議会では住民の皆様への負託に応えるべく、安心安全な村づくりになるように政策提言や監視機能を強め、議会広報で皆様に情報をお届けしていくよう努めてまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

委員一同



編集委員

委員	委員	委員	副委員長	委員
大	五十	五十	蟹	若
竹	嵐	嵐	巻	林
良	正	力	尚	幸
幸	典	雄	武	子